



2018年11月8日

各 位

会 社 名 株式会社 東芝  
東京都港区芝浦1-1-1  
代表者名 代表執行役会長 CEO 車谷 暢昭  
(コード番号: 6502 東、名)  
問合せ先 執行役常務 長谷川 直人  
Tel 03-3457-2100

### 連結業績予想の修正及び個別業績予想の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2018年度通期の連結業績予想について前回予想値（2018年5月15日公表）を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2018年度通期の個別業績予想においては、前期実績値に対して一定規模を超える差異が生じる見込みのため、あらたに個別業績予想をお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2018年度連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）の修正

(単位：億円)

	売上高	営業利益	継続事業税引前 当期純利益	当社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当社株主に 帰属する当期純利益
前回発表予想(A)	36,000	700	900	10,700	1,642円00銭
今回修正予想(B)	36,000	600	▲400	9,200	1,411円79銭
増減額(B-A)	—	▲100	▲1,300	▲1,500	—
増減率(%)	—	▲14.3	—	▲14.0	—

※当社は、2018年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っています。2018年度連結業績予想における「1株当たり当社株主に帰属する当期純利益」には、当該株式併合の影響を考慮しています。また、予定されている自己株式の取得による株式減少は織込まずに算定しています。

#### 2. 修正の理由

当社は、本日付「米国产液化天然ガス(LNG)に係る事業からの撤退及び関係会社株式評価損(個別)の計上に関するお知らせ」にて公表のLNG事業からの撤退に係る一時金費用約930億円の損失計上、「英国における原子力発電所新規建設事業からの撤退に伴う海外子会社の解散及び関係会社株式評価損(個別)の計上に関するお知らせ」にて公表の約150億円の損失計上、及び構造改革費用増加等による営業利益

の悪化により、2018年度通期連結業績予想を修正することとなりましたのでお知らせします。

### 3. 2018年度個別業績予想

当社は、本日付「剰余金の配当及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表のとおり、剰余金の配当実施にあたり、2018年度第2四半期累計期間（2018年4月1日～2018年9月30日）において、単独の臨時決算を実施し、東芝メモリ株式会社の株式譲渡完了による個別業績への改善影響約1兆2,500億円を計上しましたが、今般、当該2018年度第2四半期単独臨時決算値を基に、2018年度通期の個別業績予想を策定・確認しましたのでお知らせします。

（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前年度実績(A)	5,261	▲548	▲1,003	1,776
2018年度予想(B)	400	▲400	▲200	11,500
増減額 (B-A)	▲4,861	148	803	9,724
増減率(%)	▲92.4	—	—	547.5

以 上

#### \*（注意事項）

本文書に記載されている事項には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信に基づく当社の予測です。当社グループはグローバル企業として市場環境が大きく異なる国や地域で広く事業活動を行っているため、実際の業績は、これに起因する多様なリスクや不確実性により、当社の予測とは大きく異なる可能性がありますので、ご承知おきください。なお、リスクのうち主なものは以下のとおりですが、これに限られるものではありません。

- ・ 地震、台風等の大規模災害
- ・ 国内外における訴訟その他争訟
- ・ 当社グループが他社と提携して推進する事業の成否
- ・ 新規事業、研究開発の成否
- ・ 国内外の政治・経済の状況、各種規制等
- ・ 主要市場における製品需給の急激な変動及び価格競争の激化
- ・ 生産設備等に対する多額の資本的支出と市場の急激な変動
- ・ 金利為替等の金融市場環境の変化